

なんでも相談・法律相談  
随時、ご相談ください

090-8489-5260  
inouetakashi99@gmail.com  
事務所 新町2-1-10ピカース山下106

日本共産党 青梅市議団

青梅市議会議員

井上たかし



@inoue\_9



活動報告  
2022年11月号



小中  
全校

# 学校体育館に

来年度までに

# エアコン

# 設置

**猛**暑から子どもたちを守るため、東京都内の各自治体で、学校体育館へのエアコン設置が進められています。卒業式など寒い時期の式典や災害時の避難所としても、トイレとともに整備が急がれる課題です。

ところが、青梅市では学校の老朽化対策が追いつかない状況が続いてきたことから、体育館のエアコン設置には手がつけられていませんでした。昨年度末の時点で、まだ1校も体育館のエアコン設置ができていないのは多摩26市でわずか2自治体のみ、その一つが青梅市だったのでした。

## 「他自治体の経験も活かし早急に」

私は、東京都のエアコン設置の補助制度が2023年度末で終了してしまうことも指摘し、「他の自治体の経験も活かして早急にエアコン設置を」と、今年3月の市議会で求め、市は「早期の実現をめざしたい」と答弁していました。他の会派からも設置を求める声が相次ぎ、ついに今年6月、**2023年度末までに体育館にエアコンを設置する方針が発表**され、9月議会にはまず中学校全校(10校)の体育館に設置する補正予算が可決されました。小学校は来年度の設置となります。

子どもたちの願い、そして保護者、学校関係者の強い願いが市政を動かしています。

## 青梅市2021年度(令和3年度)決算 ——— 市の基金が急上昇

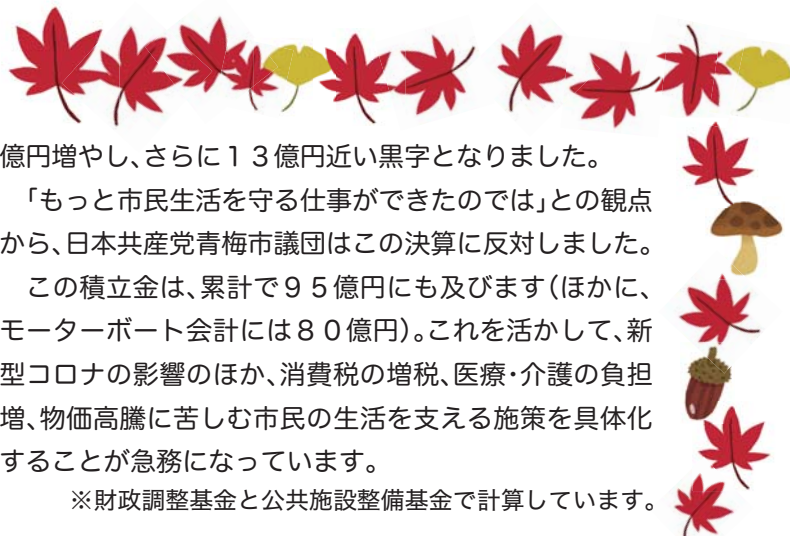
2021年度の会計「決算」の審議が9月の市議会で行われました。昨年度は、新型コロナの感染拡大で、ワクチン予約の混乱や、飲食業を始め様々な業種の低迷、学校や地域の行事の縮小・中止など、市民のくらしが健康面でも経済面でも大変な影響を受けました。

その一方で、市のモーターボート事業は1年間で52億円もの儲けがあがり、その半分以上を市財政に入れたこと、新型コロナ対策のほとんどは国・都の補助金の範囲内で行われなかったことなどから、市は積立金※を31



7年前に建て替えた第四小学校の体育館。まだ新しくキレイですが、エアコンはついていません。

億円増やし、さらに13億円近い黒字となりました。  
「もっと市民生活を守る仕事のできたのでは」との観点から、日本共産党青梅市議団はこの決算に反対しました。  
この積立金は、累計で95億円にも及びます(ほかに、モーターボート会計には80億円)。これを活かして、新型コロナの影響のほか、消費税の増税、医療・介護の負担増、物価高騰に苦しむ市民の生活を支える施策を具体化することが急務になっています。  
※財政調整基金と公共施設整備基金で計算しています。



# 明星大学跡地購入方針は撤回を

## 目的が不明確な購入の方針

青梅市は、昨年「明星大学青梅キャンパスの跡地を取得する方針」を表明しています。しかし、その利用目的は定まらず、昨年はおもに「将来の公共施設の用地」としていましたが、今年になって「工業用地」「道の駅」「農業振興(キノコ栽培など)」も新たな利用案としました。

「これから購入する土地・建物の利用目的が決まっていない」——こんな税金の使い方は間違えています。この方針は一度撤回し、なぜ取得しようとしたのか、経緯を市民に説明するべきです。

## 見通しがいい利用案ばかり

市が示した利用案は困難なものばかりです。公共施設の用地と言っても、総合体育館など、現在の便利な場所から移転するのは多くの市民にとってよいことではありません。

また、この跡地は「大学建設」を条件に開発が許可されたため、他の用途への転用には様々なハードルがあります。「工業用地化」や国の認定が必要な「道の駅」など、実現の見通しは持てません。一度取得すれば、売却することも困難です。

## 費用は不明

購入費は「交渉中」と示されていません。利用価値があれば数十億円の資産価値がある土地と建物ですが、大学が閉鎖されたままという経緯から低額や無償での譲渡も考えられます。しかし、建物の解体費(アスベストがなければ約10億円)、スポーツ施設の改修費、土砂災害対策などの維持費は不透明で、莫大な金額がかかることが予想されます。

## スポーツ施設として活用は？

市長は、「体育施設を維持管理することが一番重要」とも説明(6月議会・みねざき議員への答弁)しましたが、市には既存施設の統廃合の方針はあっても、新たな施設を取得する方針はありません。

スポーツ関係者からは施設整備の要望の声もあります。これに応える気があるのなら、土地を買う前に、市民や利用団体に呼びかけて、スポーツ施設を整備する構想をつくるのが先ではないでしょうか。



写真の山林のほとんどが大学跡地に含まれます

## 明星大学青梅キャンパス跡地とは

2015年に閉鎖された明星大学青梅キャンパスには、大学の講堂などがそのまま残されています(以下、跡地)。延べ床面積が3000㎡から6000㎡程度の校舎等が5棟、柔剣道場などを含む体育館、その他施設で建物の総床面積は約3万9000㎡です。

また、跡地には野球場1面、総合運動場1面、テニスコート6面があり、長測2・5・9丁目にまたがる総面積は山林を含めて約80万㎡と広大です。

参考 青梅市役所:約2万2000㎡  
旧東芝(現物流センター):約12万㎡



## 横田基地 オスプレイは即時に飛行停止を

8月18日、米空軍がオスプレイの「全機飛行停止」を命じたことを各紙が報じました。原因はエンジンとプロペラをつなぐクラッチの不具合とのことでしたが、問題は解決しないまま2週間後に飛行は再開されました。

このトラブルについては、米空軍自身が重大な危険性を表明したにもかかわらず、日本の防衛省は「機体の安全性にかかる技術的課題が認

められない」とむしる安全性を強調する異常な態度をとり、いまだに改めていません。

9月議会の質問では、基地問題で連携する青梅市、あきる野市、日の出町の担当者と一緒に基地を訪問する予定との答弁がありました。これは初めてのことで評価したいと思います。いずれにしても、住宅地上空での危険なオスプレイの飛行は即時に停止させなければなりません。

オスプレイ・米軍機の騒音に、夜遅くまで市民はさらされています。今回の飛行停止の原因となったのは8月のノルウェーでの事故であることが「しんぶん赤旗」の取材で明らかになりました。